

1. セクション 1

- a. 練習 1-2
 - i. 問題 7 気分がよくなるまで→風邪が治ってサイナスの症状が無くなるまで
- b. 練習 1-4
 - i. 問題 1 問題文中、6深度メートル→深度 6メートル
- c. 器材 I BCD — 浮力調節具 トピック 6/9
 - i. パワーインフレーターメカニズム 廃棄ボタン→排気ボタン
 - ii. 過圧防止弁/クイック・エキゾースト・バルブ 自動的に排出する便→自動的に排出する弁
- d. ナレッジレビュー
 - i. 質問 2 解説 強制的または拡張されたイコライゼーション→カづくで無理やり圧平衡
 - ii. 質問 4 選択肢 3 同じだ→ 痛みを感じたときだけ圧平衡する
 - iii. 質問 13 解説が質問 2 と同じになっている。

2. セクション 2

- a. ナレッジレビュー
 - i. 質問 5 正解ですの後に不正解の記述
 - ii. 質問 14 正解ですの後に不正解の記述

3. セクション 3

- a. ダイバーになる III ダイビング環境とコンディション トピック 1/9
 - i. 学習目標 12 5しゅるいのきほんてきなもの 5種類の基本的なもの
- b. ダイバーになる III 水中生物 トピック 4/9
 - i. 受動的な関わりと能動的な関わり だいはは水中生物と ダイバー
 - ii. 危険な水中生物によるケガを予防し対処する サメの補色行動を刺激するからです。 捕食行動
- c. 練習 3-9
 - i. 問題 6 選択肢 4 Cカード Cカード
- d. クイズ 3
 - i. 質問 2 友人 パディ

4. セクション 4

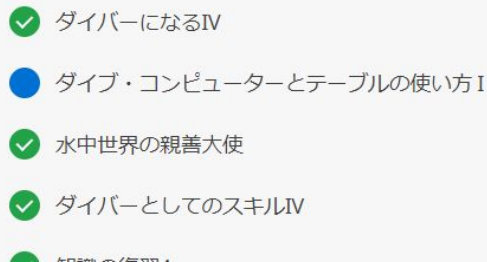
- a. 練習 4-7
 - i. 問題 1 ダイビングは体力で気にきついものになる場合もあるため、元氣よく健康でいる必要があります。 体力的に
 - ii. 問題 3 選択肢 2 思い器材を持ち運ぶ 重い器材

- b. ダイバーになるIV 活動的なダイバーでいる トピック 2/6
- i. 本文中 子のスレートには この
- c. 練習 4 – 12
- i. 問題 2 深度や時間の制限を超えてダイビングし、浮上すると体内に気泡が形成され、源ア賞になる恐れがあります。(体)の中に気泡が形成され、減圧症を引き起こす場合があります。 **形成され、減圧症に**
 - ii.
- d. ダイブ・コンピューターとテーブルの使い方I ノンストップ・ダイビング トピック 2/5
- i. 浮上速度と安全停止 本文中 安全停止を“必須”とするものもあります。これは、リミットに近づくと、もっと慎重になるようにという意味で「必須」と呼んでいます。 **とするのです。**
- e. ダイブ・コンピューターとテーブルの使い方I 反復ダイビング トピック 3/5
- i. 反復ダイビングを計算する 本文中 もう一度ダイブするとき、コンピューターは体内組織内の理論上の残留窒素を「わかっています」。(理論上)知っています。
 - ii. 本文中 それが正常です。それは正常なことです。
- f. ダイブ・コンピューターとテーブルの使い方I コンピューターを使ってダイブプランを立てる トピック 4/5
- i. ダイブ・コンピューターをセッティングして起動する 本文中 通常、セッティングは最初に一度だけ行います。メーカーのガイドラインに従って、次の項目をセッティングします：
 1. 時間と日付
 2. メーター単位または英単位 **メートル法またはヤードポンド法**
 3. 浮上速度アラーム(通常、オンにしておく)
 4. 最大深度/時間アラーム(リミットに達した時に警告)
 - ii. ダイビング・プラン 本文最後の段落
 1. これまでに学習したように、エア・マネジメントを計画します。一般的に潜水時間を支配するのはノンストップ時間ではなく、残圧であることを忘れてはいけません。ダイブコンピューターだけでなく、残圧もこまめにチェックしましょう。予定の潜水時間、戻り始める残圧、ノンストップリミット時間のいずれかのリミットに達したら、戻り始めます。ダイビング中に確認できるよう、これらの3つのデータに加えて、最大深度と次に深い深度のノンストップ時間を「PADIスキル練習とダイブ・プランニング・スレート」にメモしておきます。→紙のマニュアルの文章が上記の通りこの文章なら意味がわかる。
- g. 練習 4 – 16
- i. 問題 4 ダイブ・コンピューターを持ってダイビングしている間、バディと私は、残りのノンストップ時間、または空気残圧ポイントのう

ち、早く到達するリミットに基づいてダイビングを折り返します。

戻り始める残圧のいずれか

- h. ダイブ・コンピューターとテーブルの使い方 1 コンピューターを使ってダイビングする トピック 5/5
 - i. コンピューター・ダイビングのガイドライン 本文中 SPG 残圧計
 - ii. 囲み記事 セーフダイバー (SAFE Diver) であるために 本文中 ゆっくりと浮上ですべてのダイブ すべてのダイブでゆっくり浮上
- i. ダイバーとしてのスキルIV スキン・ダイビングのスキル トピック 7/9
 - i. 本文中 ハイパー・ベンチレーション (通常より深く速く呼吸する)
速く
- j. ダイブ・コンピューターとテーブルの使い方 1
 - i. 修了しても、概要欄のアイコンにチェックがつかない。



5. セクション 5

- a. ダイバーであることV アドベンチャーを続ける トピック 3/3
 - i. 本文中 PADIマスター・スクーバ・ダイバー() **PADIマスター・スクーバ・ダイバー(PADI Master Scuba Diver)**